

平成30年6月28日

各位

株式会社 紀陽銀行

社会貢献債（ソーシャルボンド）への投資について

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、本年4月よりスタートした第5次中期経営計画における「ESG（環境・社会・ガバナンス）に関する課題への取組」の一環として、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が新規に発行する社会貢献債（ソーシャルボンド）※¹である「JICA債」への投資を実施いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

JICA債は、投資された資金が開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために使用され、持続可能な国際社会づくりに貢献しています。また、平成27年9月に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）※²に関連して日本政府が策定した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」の中で、SDGsを達成するための具体的施策のひとつとして、JICA債の発行が掲げられています。

当行は、SDGs達成に貢献することが地域金融機関としての使命であると認識し、関西においてSDGs達成に向けた活動を推進する組織「関西SDGsプラットフォーム」の会員団体として活動しております。

今後も事業活動を通じたSDGs達成への取り組みを進め、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

記**【JICA債の概要】**

債 券 名	第44回国際協力機構債券
発 行 総 額	150億円
当 行 購 入 額	8億円
期 間	10年
発 行 日	平成30年6月28日

以 上

※1【社会貢献債（ソーシャルボンド）】

- ・国際資本市場協会（ICMA）により定義され、サステナブル投資の発展・普及に向けて、環境問題に加え社会課題の解決を目的とした債券。調達資金は、社会開発に資する事業（基礎インフラ開発、社会サービスへのアクセス改善など）に活用される。

※2【SDGs（持続可能な開発目標）】

- ・国連加盟国193カ国が2030年までに達成するために掲げた共通の目標。社会・経済・環境の課題を網羅しており、17のゴール（目標）と169のターゲットで構成される。